

# (福)慈恵会

美濃加茂市・福祉

従業員数／男性159名 女性605名 計764名 ※令和5年11月現在

エクセレント  
POINT

- ①週3日のノー残業デーの実施
- ②ダイバーシティの推進
- ③時間単位の有給休暇取得や計画的付与の実施



3.9月(サンキュー)を「ありがとうカード月間」とし、職員同士や利用者から職員へなど、普段なかなか伝えられない感謝の気持ちをカードに書いてもらい掲示している。

職員の子連れ出勤も可能で、介護職員のBさんは長男が子どもの頃、長期休暇によく子連れ出勤を利用していた。「遊んでくださる利使用者もいて心強かった」と振り返る。育った長男は福祉施設に就職、介護職員として高齢者に優しく寄り添っている。

だ子育てに手がかかるが、今後、夜勤もこなす正職員への転向も視野に入れている。

時間外労働削減に向けては、社内研修を対象者全員が勤務時間内に受けられるように、複数回に分けて開催。30分単位だった残業を改め、終業5分前には着替えに行かせるなどの取り組みから、職員の時間外労働時間を月平均3時間程度まで削減することができた。今後も働きやすい職場を目指し、さらなる体制の構築に取り組んでいく。



WLBを推進し、新しい介護のカタチを実現。

## ライフステージに対応した多様な働き方を提案

県下最大級の社会福祉法人である慈恵会は、7市町で老人ホームやデイサービス施設などを運営している。そのため管理職と本部が連携し、引っ越しや育児介護など個別の状況に応じて勤めやすい職場へ異動を提案。安心して仕事を続けられる環境づくりに取り組んでいる。パートから正職員に転換する

ことも可能で、キャリアアップを目指しながら働くことができる。  
嘱託常勤職員のAさんは、下の子が1歳3ヶ月の頃に特別養護老人ホームでパートとして働き始めた。より責任を持って働きたいと、子どもが小学校に上がるタイミングで嘱託常勤職員へ転向、現在働いているデイサービス施設に異動した。ま

だ子育てに手がかかるが、今後、夜勤もこなす正職員への転向も視野に入れている。

職員の子連れ出勤も可能で、介護職員のBさんは長男が子どもの頃、長期休暇によく子連れ出勤を利用していた。「遊んでくださる利